

平成22年度 京都府立大学地域貢献型特別研究 (ACTR) 成果

|   |   |          |                                    |
|---|---|----------|------------------------------------|
| 分類<br>番号  | B | 取組<br>名称 | 明治時代以降の京都イメージにおける都市と自然の調和に関する学際的研究 |
| 研究代表者： 文学部 職名：教授 野口 祐子  |   |          |                                    |
| 研究担当者：<br>京都府立大学（金澤哲、浅井学、上杉和央、松谷茂、長谷川雅世（敬称略））<br>外部分担者・協力者（松田万智子氏、福島幸宏氏、神崎順一氏 ほか）   |   |          |                                    |
| 主な連携機関（所在市町村、機関（部署）名）<br>京都府立総合資料館、京都府立植物園 など   |   |          |                                    |
| <b>【研究活動の要約】</b>  |   |          |                                    |
| <p>1. 本研究では（1）京都の都市性における郊外の役割、（2）京都の都市性における自然の役割、という2つの観点について、府立植物園、府立総合資料館関係者と協働して研究を行った。</p> <p>2. この研究の中間報告として、平成22年12月18日には金澤哲文学部教授が中心となって、3機関連携公開シンポジウム「自然文化都市 京都—自然・人・歴史」を開催した（於：京都府立総合資料館）。当日は府民約190名の参加を得て盛会であった。</p> <p>3. 本研究の成果をまとめた研究成果報告書を発行し、京都府内の主要な公共図書館と近隣の主要研究機関に送付した。</p>  |   |          |                                    |
| <b>【研究活動の成果】</b>  |   |          |                                    |
| <p>本共同研究の成果は公開シンポジウムと研究成果報告書によって公表した。</p> <p>報告書は2部構成となっており、第1部は以下の2観点が中心である。</p> <p>（1）植物園が下鴨・北山地域の発展と京都の近代化に果たした役割を解明することと、岡崎地域が平安京以来、近代に至るまで京都中心部とどのように関わってきたかを解明することによって、京都における郊外の歴史的・景観的意義を明らかにする。（2）京都の都市性における自然の役割を明らかにする。盆地周辺の植生の変化が都市景観におよぼした変化を解明する論考、また京都と比較するために、ニューヨークのセントラルパークと植物園の役割を考察する論考を収める。</p> <p>報告書第2部では本共同研究のもう一つの柱として、外からのまなざしによる京都観と、日本映画における京都の表象に注目した。（1）明治時代の欧米からの旅行者による京都観に通底する要素、（2）欧米人が京都に向けたまなざしに潜在するノスタルジアの要素、（3）1930年代から50年代の日本映画に頻繁に使用された京都イメージを抽出する。いずれも、京都における都市景観と自然景観との調和がどのように評価されたか、また京都を東京と対比させる視点は京都をどのように位置づけてきたかを共通の観点とする分析であり、京都の独自性を明らかにする。</p> |   |          |                                    |
| <b>【研究成果の還元】</b>  |   |          |                                    |
| <p>[シンポジウム] 京都府立大学・京都府立植物園・京都府立総合資料館連携公開シンポジウム<br/>H22/12/18 京都市左京区 京都府立総合資料館 府民参加者約190名</p> <p>[報告書] 「明治時代以降の京都イメージにおける都市と自然の調和に関する学際的研究—平成22年度京都府立大学地域貢献型特別研究成果報告書」京都府立大学図書館・総合資料館・京都府内の主要公共図書館で閲覧可能</p>  |   |          |                                    |
| <p><b>【お問い合わせ先】</b> 文学部 野口研究室 職名：教授 野口祐子<br/>Tel: 075-703-5239 E-mail: noguchi@kpu.ac.jp</p>  |   |          |                                    |

シンポジウム

自然文化都市 京都

# 自然・人・歴史

日時：2010年12月18日(土) 午後1時～4時30分

会場：京都府立総合資料館 講堂 (市営地下鉄北山駅1番出口すぐ)

参加費無料・申込不要



花洛一覽図 (京都府立総合資料館所蔵)

## プログラム

「自然文化都市 京都とは」

(金澤 哲 京都府立大学文学部教授)

「移りゆく森のすがた」

京都盆地における人と森の関わり

(高原 光 京都府立大学  
生命環境科学研究科教授)

「花洛を支える郊外」

京岡崎周辺の歴史をふりかえって

(上杉 和央 京都府立大学文学部准教授)

「北山の近代化と京都府立植物園」

植物園の歴史から眺めると

(松谷 茂 京都府立大学客員教授・  
京都府立植物園名誉園長)

「ニューヨークにおける  
自然・人・歴史」

(金澤 哲 京都府立大学文学部教授)

総合討論

「自然文化都市としての京都」